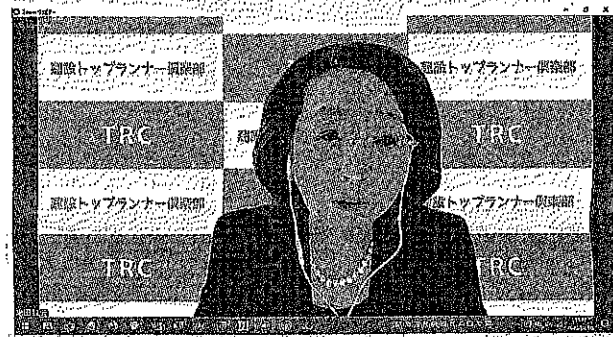


農林水産省と建設トッパー  
ンナー倶楽部(米田雅子代表  
幹事)は6日、第5回「建設  
業と農林水産業の連携シンポ  
ジウム」をオンラインで開催  
した。「人口減少とグリーン  
化にどう向き合うか」をテー  
マに、建設会社4社が先進事  
例を紹介した。農水省と林野  
庁、国土交通省を交えた意見  
交換も行った。

## 建設会社4社が先進事例紹介



あいさつする米田代表幹事

とが有力な方法になり得る」と呼び掛けた。  
事例発表では、深松組(仙  
台市青葉区)の深松努社長が  
「アクアイグニス仙台と脱炭  
素のイチゴ工場」の取り組み  
を紹介した。冬場でも効率良  
く集熱が可能な太陽集熱パネ

### 農水省、建設トッパー倶楽部 農林水産業との連携へシンポ

ルと、高密度で蓄熱するシス  
テムを組み合わせ、冬の夜  
間なども含めて培地に常時熱  
を送ることが可能な自然エネ  
ルギー利用熱源システムを開  
発。仙台市内で実証実験に着  
手しており、深松社長は「燃  
料の高騰で施設栽培が経営的  
に難しくなっている。その悩  
みを今回のシステムで何とか  
解決していきたい」と話した。  
小野組(新潟県胎内市)の  
小野貴史社長は「グローバル  
地域マネジメント業への進  
化」、吉崎工務店(島根県隠  
岐の島町)の吉崎英一郎社長  
は「隠岐の島の建設業と農林  
水産業との連携」、菅野組  
(北海道遠軽町)の菅野浩太  
郎社長は「苗木生産で北海道  
のグリーン化を目指す」をテ  
ーマに、それぞれ取り組みを  
説明した。